維新ふるさと館だより vol. 3

〒892-0846 鹿児島市加治屋町23番1号
TEL 099-239-7700 FAX 099-239-7800
ＨＰ http://www.ishinfurusatokan.info

入館者２００万人達成！

平成20年10月19日（日）、維新ふるさと館の開館以来、入館者数が200万人を突破し、記念セレモニーが開かれました。200万人目となったのは、北海道鹿追町から旅行で訪れた、広木洋子さん。くす玉を割り、記念証、記念品の贈呈が行われました。

調所広郷
（安政5年2月5日
－嘉永元年 12 月 19 日）

調所笑左衛門広郷没後160周年記念講演

今年は、薩藩の財政改革を行った薩摩藩家老・調所笑左衛門広郷の没後160年の年にあたり、命日である12月19日に記念講演会を開催します。

日　時　：　平成20年12月19日（金）15:00～17:00
場　所　：　維新ふるさと館　体感ホール（地下1階）
演　題　：　薩摩藩家老「薩藩の財政改革を行った調所笑左衛門広郷の光と影」
尚古集成館　副館長　　松尾千歳　氏
調所家子孫（昆孫）　　調所一郎　氏　（対談）
入館料：大人300円　小人（小・中学生）150円
※事前に維新ふるさと館までお申し込みください（12月10日（水）まで）

お　正　月
お楽しみ抽選会

平成21年1月1日（木）～1月3日（土）

お正月の3日間、入館者全員を対象にお楽しみ抽選会が開催されます。鹿児島の特産品を中心とした、素敵な賞品が当たります。
みなさま、お誘い合わせの上、維新ふるさと館で楽しいお正月をお過ごしください。

体感ホールリニューアルのお知らせ

来年（平成２１年）２月２６日、西郷ロボットのリニューアルや新しい映像の追加など、体感ホールがリニューアルいたします。
工事期間中、地下１階が閉鎖となり、ドラマ上演も中止になります。ご迷惑をおかけしますが、予めご了承ください。

●地下１階展示部分閉鎖（ドラマ上演中止）期間
平成２１年１月１９日（月）～２月２５日（水）

※　期間中、入館料は半額となります
大人　３００円　→　１５０円
小人　１５０円　→　７５円

ご利用案内

●開館時間　午前9時～午後5時
（入館は午後4時30分まで）
●年中無休

◆維新体感ホール「維新への道」上演時刻

上演時刻	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
	9:15	10:05	10:50	11:35	12:20
	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
	13:05	13:55	14:35	15:35	16:30

交通案内

- JRかごしま中央駅から徒歩8分
- カゴシマシティビュー「維新ふるさと館前」下車
- 市電「高見橋」下車徒歩3分
- ◆ 駐車場　24台収容

入館料　※団体は20名以上

	大人（高校生以上）	小人（小・中学生）
個　人	300円	150円
団　体	240円	120円
年間パスポート	600円	300円

～西郷隆盛をしのぶ書道展～

9月24日西郷隆盛命日の前後、9月20日（土）～10月10日（金）に、「西郷隆盛をしのぶ書道展」を開催しました。西郷隆盛が書に親しんでいたことをしのび、郷土の偉人である西郷隆盛の人徳と偉業をしのぶとともに、郷土への関心を高めることを目的とし、西郷隆盛にちなんだ題材をもとに、県内外より幼児から一般まで幅広く応募いただき、3266点の中から、入賞作品633点を展示いたしました。

西郷南洲大賞　西　春菜
野中　千恵里
小澤　絵美梨
神薗　よしの
中島　享一

授賞式（９月２３日）

歴史アラカルト♪

小松の力

文久2年（1862年）2月7日、隣の人吉（相良藩）で大火が起こり城下を焼き尽くした。困った藩は、5千両（今の5億円）の借用を熊本藩に申し入れたが断られ薩摩に相談に来た。28才の新任家老小松帯刀が応対。断られると覚悟していた犬童家老に対し、「5千両でよろしいか、お急ぎならすぐに用意いたしましょう」と即座に回答した。新任とは言え、小松の力量が伺えるエピソードである。
翌年、相良藩は薩英戦争で困窮していた薩摩藩にお米で返済し喜ばれた。

中学生「薩摩歴史博士講座」

夏休み、中学生を対象に郷土の歴史に関心を持たせ、友達や家族に鹿児島の歴史を紹介できる知識を身につけてもらおうと、「薩摩歴史博士講座」を実施。全5回、様々なテーマについての講座や自顕流体験など行い、全てに参加した40名に薩摩歴史博士の認定証を授与しました。

歴史講座「坂本龍馬も頼った小松帯刀」

10月25（土）～27日（月）に、歴史講座を実施し、定員の約2倍の申込みがあり、みなさん大変熱心に受講されました。大河ドラマ「篤姫」の影響もあり、「小松帯刀」への関心の高まりを感じます。

鹿児島の伝統行事　～曽我どんの傘焼き～

鹿児島の夏の風物詩「曽我どんの傘焼き」は、鹿児島三大行事の一つ。建久４年（1193）、曽我の十郎、五郎二人の兄弟が、父河津三郎の仇として、源頼朝に随行していた工藤祐経を、雨の降る夜、傘を松明代わりにして討ち取り、永年の大願を成就した。しかし、秩序確立に厳しい頼朝にとって反逆者となった兄弟は、兄の十郎がその日に討たれ、弟の五郎は後に斬首となった。
武士道の本質は、何よりも「忠・孝」を重んじ、「義」や「誠」、「人としての道」を大切にするものであり、武士道精神に反する行為をしたならば、命をもって償ったのである。

甲突川河畔にて
平成 20 年 7 月 20 日（土）

展示の紹介

常設展示

常設展示コーナーでは、西郷隆盛手作りの下駄や、愛用の扇子、水滴などの貴重な遺品が展示されています。

✎ 修学旅行出前講座 ✎

当館では、修学旅行などで鹿児島市を訪れた学校を対象に、鹿児島の歴史や市内の史跡等について、宿泊場所（鹿児島市内）にて出前講座を実施しております。ただし、維新ふるさと館への来館が条件となります。詳しくはお問い合わせください。

✎今年度実施
佐賀県伊万里市立国見中学校